

令和元年度 第1回湖南省立図書館図書館協議会 会議録

■開催日時 令和元年9月26日(木) 午後3時00分～5時10分

■開催場所 湖南省立甲西図書館 2階集会室

■出席者 図書館協議会委員9人(欠席者1人)
教育長、事務局4人

■傍聴人 1人

■開 会

[あいさつ] 教育長

[委員自己紹介]

[職員紹介]

[会長および職務代理者選出]

- 議 事
- 1) 図書館協議会の役割について
 - 2) 平成30年度湖南省立図書館事業実績報告について
 - 3) 平成31年度湖南省立図書館の事業方針について
 - 4) その他

議 長	これから会長として微力ですが、みなさんにお助けいただきながら、進めていきたいと考えています。今、図書館は大きく変わっていく時期がきているのではないかと考えています。私は、蔵書数が多いよりも、コミュニケーションの場ということがこれからの図書館の役割になるのではないかと考えています。これからどうぞよろしくお願いいたします。
事務局	図書館協議会は、市図書館条例に「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする」と規定されており、年3～4回集まっていただきご協議いただきます。ですが、会議は限られた回数・時間しかありませんので、図書館をご利用の際や電話、メールなどでもご意見を頂戴出来たらと考えております。よろしくお願いいたします。
議 長	今回初めて委員になられたかたも多いですし、簡単なことでもかまいませんので、何か質問がありましたらお願いします。
委 員	今回、開催が例年に比べて遅れていますが、その理由は何だったのでしょうか。
事務局	今年度は委員改選の年でありましたが、前回の委員構成では社会教育に関わるかたの比率が少ないとの指摘があり、今回委員構成を変えました。そのため、前回の委員の後任ではなく新たに依頼することになりましたが、その選出に時間がかかり開催が遅れたという次第です。
議 長	図書館協議会が無くなったのではないので、これから盛り返していただき、みなさんにご協力いただけたらと思います。 せっかくみなさんには委員になっていただきましたので、できる限りこの会議に出席いただき、マツゾウくんも含めご自身が利用していただき、意見を出していただけたらと思います。私自身も図書館を利用して初めて見える部分もあったので、利用していただくことが図書館の改善につながるのかなと思っています。
委 員	事業方針を見てもどのように図書館の活動をPRされているのか、マクロすぎて理解しにくい。PRする部門と、図書館の中を充実する部門と、2つに分けて活動すればどうかと思う。

	<p>情報のまとめ方、情報の発信の仕方については迅速が必要だと思う。元号が「令和」になったときのように、話題が上がったときにすぐ受け止めてどのように利用者に知らせるか検討していただきたい。</p> <p>また、決めていただいたことをどのように地域のかたにPRしていくか、これはちょっと難しい。広報こなんには健康に関することなどの情報はたくさん載っているが、図書館のページは休館日がいつだとか、もうすでに分かっていることが毎月掲載されている。それよりも、こういう情報があるよ、できるだけ図書館に来てくださいということを載せてはどうか。</p> <p>図書館にくる人はしょっちゅう来ている。私も週に1回はどちらかの図書館に行っている。図書館に来る人は限定的ではないかと思う。その結果がアンケートの結果にまとめられていると思う。</p> <p>これを基礎として協議会でどういうことをしたらいいのかということを考えていかないといけないと思っている。</p>
議長	<p>委員のおっしゃることは、情報発信基地としての役割を、図書館もしくは図書館協議会が担っていくという話ですが、それは組織をしっかりした物にしないと、いい加減な情報は流せないで、その辺の方向性を事務局から話していただけたら。</p>
事務局	<p>令和については、発表されたその日から甲西図書館で特設コーナーを2週間くらい設置しておりました。発行された号外をパネルに入れ、その前に、万葉集の出典された部分に付箋を貼り、年号に関する図書とともに50～60冊置きました。みなさん興味を持っておられたようで、たくさんの貸出がありました。</p> <p>甲西図書館では「特設棚」と呼んでいます。返却カウンター横に2か所、玄関自動ドア横に1か所、計3か所の特設コーナーを2～3週間のスパンで、そのときどきのトピックスに関わる本を集めてきて設置しています。令和の場合、歴史、文学などいろいろな分野の本を集めて、1つの棚として構成しておりました。このような特設棚を作ることで、職員の本を見る力をつけるとともに、利用者のかたにトピックスの情報を提供するということをしています。次回昨年度の特設棚一覧を配布させていただきます。</p> <p>広報こなんについては、かなり早くから準備しないと掲載できず、また図書館に編集権がありません。そのため、図書館独自の広報として図書館独自のホームページがあります。そこにどれだけの情報を載せ、みなさんに見ていただくかが勝負だと思っています。開催した事業についても、写真入りで予告や報告を掲載していますので、また図書館のホームページを見ていただけたらと思います。</p> <p>ただ、まだまだPR不足だとは思っており、改善の余地はあると思っております。</p>
議長	<p>情報発信基地と広報については、私たちが検証させていただきたい。</p> <p>また、運営方針の中でマクロな部分がちょっと見えにくい、つまりミクロな部分はさらに見えないということ。これも、話し合いの中で詰めていきたい。</p> <p>せっかくご意見を出していただいたので、しっかり応えられるようにしていただき、また、普段から図書館をご利用いただいているのであれば、情報交換をしていただきたい。</p>
委員	<p>今日の会議は、資料を説明いただき、今の図書館の状況を把握したうえで、今年度どういうところに絞って、私たちが思っていることをそれぞれの立場からフリーで意見を述べるものなのか、それとも今年の図書館をどう進めるのか1つテーマを決めて任期の2年間で話し合うものなのか、どういうものなのでしょう。</p>

事務局	事前に資料を送付していますので、見ていただいていることを前提に事務局からの説明はコンパクトにさせていただき、委員のみなさまの意見をたくさんいただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。
議長	では、続いて、議事2 平成30年度湖南省立図書館事業実績報告について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料②を基に、平成30年度湖南省立図書館事業実績報告を説明
議長	<p>今、図書館離れが進んでいるという現状は知っていただきたい。ただし、時代背景が変わってきているところもある。</p> <p>移動図書館マツゾウくんについては、以前に非効率ではないかと意見を述べたこともありました。ただ、子どもたちが楽しみに待っていると事務局からお聞きし、納得した。その後、1年くらい経ったので、実態も以前より把握して事務局から意見をいただけるのではと。</p> <p>本離れが進んでいるのは事実ですし、本離れが進むことによって、情報やコミュニケーションが少なくなっているとは感じている。</p> <p>委員のみなさん、事務局に聞いておきたいことはありますか。</p>
委員	<p>質問が2つあります。</p> <p>①実利用者数の属性は分かるのか。性別、年齢、外国籍かどうか。住民の年齢構成と利用者の年齢構成を照らし合わせると、どの年代が使っていないのかということが分かるのではないか。</p> <p>②資料の受入冊数のうち、外国語のものはどのくらいあるのか。また、その言語は？</p>
事務局	<p>①利用カード申込書の記載事項の項目は分かる。性別は、記載事項にしていなかったため分からない。また、国籍も記載事項にしていない。分かるのは年齢・住所くらい。ただ、分析できるようなデータを出力するのは時間も手間もかかる作業になる。</p> <p>②どの言語の本を所蔵しているのか、冊数とそのパーセンテージについては提示できますので、次回提示します。ただ、貸出冊数ではなく、蔵書冊数になります。</p>
議長	外国語の書籍は利用価値のある物を入れているのか。
事務局	利用価値もですが、利用がどの程度あれば「利用がある」とみなすのか、その基準を決めるのは難しい。図書資料費は限られているため、需要と供給ということは当然ある。
議長	湖南省は外国人比率が5.5%と滋賀県でも突出しており、蔵書冊数のうち外国語の書籍が5.5%あってもおかしくない。ただ、現状はそこまでにはなっていないのですよね。
事務局	ポルトガル語、英語については充分ではないが、ないことはない。あと、中国語、ハンダール、スペイン語は一応あるという冊数しかない。
委員	図書館に来館する人にPRではなく、図書館で何ができるかというPRが必要ではないか。本がないからできないという人はいると思うが、図書館を利用しない人は、図書館が自分のニーズを満たさないと考えていると思う。駅やスーパーには外国の人がたくさんいるが、図書館ではあまり見かけない。近くにいるのに来ないのは、図書館に価値を見出していないからではないか。その点のほうが私は気になります。
委員	外国の人にとっては、図書館は行っても満たされない場所ということなのか。例えば、こういう本が欲しいと伝えることができないのではなく、図書館には所蔵していない本は取り寄せてもらえる制度があるが、その制度を知らないということなのか。

委員	<p>以前に館長に聞いたことがあるが、外国語の本は取り寄せてもらえない。湖南省立図書館は日本語が基準になっている。購入するルートも限定されている。日本語に限定されているのは今後変えた方がいいのではないかと思う。</p>
議長	<p>湖南省は外国人人口が今後も増えていくと見込まれているので、今後国際的な湖南省になっていくためにはそういうことも必要。すぐに変えることはできなくても、少しずつ積み上げていくことが重要。まずはどこの国の人 coming いるかを把握する必要がありますし、国際協会とコラボし方法などを聞くことなども一つの方法で、市の横の繋がりも大事にし、この会議だけでなく、いろいろな意見を聞くということも大事であって、分科会にするという方法もある。その仕組みづくりをこの会議で決めるといいのではないか。</p> <p>ただ、他府県に比べると、湖南省は断トツで外国人の受入れに対し素晴らしい活動をしている。</p>
委員	<p>まずは外国の人が来やすくなる図書館にというのが私の意見です。</p>
事務局	<p>今のお話は正に 1960 年代の図書館界の話題でありました。当時どの図書館にも 3 万冊くらいしか蔵書がなく、図書館に行ってもしょうがないと住民が思っている状況だった。それが、日本語の本限定にはなるが人口 5 万人くらいの市でも 10 万・20 万・30 万の蔵書をもつ図書館が普通になってきた。また、日本語の本限定にはなるが、その図書館にはない本でも全国津々浦々探して取り寄せることが可能と、利用者が思うようになってきた。そういうところが大きい。同じレベルには難しいかもしれないが、マイノリティのかたにもどのようにサービスを提供していくか、そのことは私共が今後考えていかないとはいけないと思っております。</p>
委員	<p>観点は違いますが、資料② 4 ページ集会行事のおはなし会ですが、自分も入園前の子どもたち、小学生や在園児対象のおはなし会をしており、毎年参加人数の集計を出している。未就園児のお母さんはすごく興味を持っておられて、本当にたくさんの参加があるが、園・学校に入るにつれてだんだん参加者が減る。また、約 20 年前からおはなし会をしているが、少しずつ参加者は減ってはきている。これは社会が、以前は休日は図書館くらいしか行くところがないという情勢であったが、今は土曜日でも休みになったにもかかわらずスポ少や習い事など選択肢が増え、図書館に行く子が減った。また大人が本を読まなくなっただけではなく、大人が図書館に興味を持たなくなった。図書館に興味がないと親がわざわざ図書館に子どもを連れてこない。</p> <p>ブックトークの話もあったが、湖南省は親と赤ちゃんが本に関わるシステムができつつあるが、それが図書館の利用につながっていない。園や学校で子どもが本に関わり、本の楽しさを知って、その子が大人になって子どもを図書館に連れてくる、そういう流れをつくらないと利用者を増やすのは難しいと感じている。</p> <p>また、子どもは在園時は本を楽しむが、学校に行くと感想文を書かされたり、読んだ冊数を競わせたたくさん本を読んだ子が表彰されるということがあると聞いています。園では楽しく読んでいた子どもが、学校に行くと「読まなければならない」になって面白くなり、大人になっても読まなくなるのではないかと危惧しています。</p>
議長	<p>湖南省ではまだおはなし会をされているほうなんではないでしょうか。</p>
事務局	<p>当館が特段多く開催しているというわけではなく、もしかしたら当館より多く開催している図書館もある。</p> <p>今まで図書館の職員が開催するおはなし会は入園前の子どもさんを対象にはしていな</p>

	<p>かった。ただ、入園前のお子さんがこれだけおはなし会に参加して下さっている現状と、子育て支援という観点も合わせ、今年度6月から土曜日開催を平日午前の開催にし、対象も未就学児対象に変更した。まだ分析できるほど開催していないので現状では何とも言えないが、ニーズに対応できているのか、需要と供給が合っているのかなど今後分析を進めていかないといけないと考えています。</p> <p>読書振興については、国が一昨年、県が昨年計画を作成し、今年度市生涯学習課が担当で計画を立てている。その協議の中で、図書館協議会委員のみなさんにも案の段階で内容を検討いただきたいと依頼を受けている。現時点では、資料はまだできていないが、また届き次第お渡しするので、ご協力いただきたい。</p>
議 長	<p>読書離れが進んでいるという課題がある。でも、湖南省は電子図書を導入している。電子図書はアマゾンなどですでに広まっているが、電子図書は図書館に行かなくてもいいし、かさばらないという利便性もあるが、コミュニケーションにつながらないという話もある。本離れが電子図書に代わっているのかは実態が見えにくいですが、スマホやタブレットで本を読む時代になってきているのかなとは思いますが、実際はどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>数字だけで言えば決して電子図書館の利用は多いとは言えない。図書館が提供できる電子図書に魅力が少ない。新聞等で「電子版あります」と記載があっても、図書館に対して提供されているものは、人気作家の新しい文芸書はまずなく、20～30年前の時代小説や、5～10年前のライトノベルが中心になっている。そのため、図書館の利用が少ない層、お年寄りや障がいのあるかた、ティーンエージャーのかた向けにラインナップを組んでいる。</p> <p>また、資料は配布していないが、本年7月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」が施行され、文部科学省から県教育委員会を通じて当館にその文書が届いた。その中に、視覚障がい者等のかたに対してアクセシブルな書籍、いわゆる利用しやすい電子図書等を提供しなさいということが記載されている。これから法律に基づいて当館が進めていかないといけないことでもあり、まさに電子図書館はこれに該当する。ただ、具体的にどうしなさいという指示はまだ来ていないため、またその時にこの会議でご相談できればと考えている。今回こういう通知が来たことだけご案内させていただきます。</p>
議 長	<p>それでは、議事3 平成 31 年度湖南省立図書館事業方針について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料③をご覧ください。基本目標は、開館以来「暮らしの中に図書館を」としています。これは 30 年間あえて変更していません。ですが、今一度「暮らし」ということ、「図書館」ということ、「その中に」ということの意味を職員一人一人が問い直す必要があると考えています。そのうえで、今後どのような展開をしていくかを各項目ごとに具体的に挙げております。</p>
議 長	<p>それでは、事業方針について何か質問等ありましたらお願いします。</p>
委 員	<p>図書館を運営するのに市からどのくらいの予算をもらっているのですか。また、レファレンスの中で、予算が窮屈ということはありませんか。人件費は別とします。</p>
事務局	<p>今年度の本やCDを購入する予算は1,500万円です。平成30年度予算は1,650万円でした。ただ、今年度は電子書籍を購入する予算が別に300万円ほどあります。足しますと150万円ほど多くなりますので、それをどう考えるかということです。</p>

	<p>今、紙がどんどん電子化されペーパーレスになってきています。人口が 55,000 人ほどの市がどのようにサービスを提供していくのか、教育長の話にもありましたように、甲西図書館と石部図書館、移動図書館の 2 館 1 車体制で現在サービスを提供させていただいているという状況です。</p> <p>この、与えられた状況の中で、どのようなパフォーマンスを提供できるのか、それをみなさまに検証していただきたいと考えております。また、この部分をもう少し頑張っしてほしいという意見もいただきたいのですが、あれもこれもというのは無理ですので、その点をどう考えていくのかということはありません。</p>
委員	<p>何故この質問をしたかという、蔵書数が少ないことによる影響はあるのかと思いましたが。</p>
議長	<p>蔵書数が多いことが図書館離れを抑止できるかどうかは、まだ分かりません。また、紙から電子データ化して資源を守りましょうというのが、世界の流れになってきています。この会議でもタブレットを貸与していただいて、ペーパーレス化を体験していただくのもいいかと思います。自分はこれからの図書館の役割はコミュニケーションの場になると思います。極端なことを言えば本がなくても人が集まるコミュニケーションの場でもいいのではないかと考えています。</p>
委員	<p>私は本を読むのが好きで、めくる楽しみを感じているので、今の話はさみしいと感じてしまいます。</p> <p>ちなみに、電子書籍の本は高く購入することができないということですよね。</p>
事務局	<p>購入できないというより、出版社から図書館に対して電子書籍が提供されていないのです。出版社や著者から許諾が出ないのです。図書館ができたから本が売れなくなったと主張する出版社の社長もいます。ただ、全国に公立図書館が 3,300 館ほどありますが、全ての図書館が購入すれば 3,300 冊は確実に売れるということになります。また、実際外国では最新の本の電子版が図書館に提供されている国もあります。その流れが日本に来るのがいつなのかは分かりませんが、環境整備を先に行い、提供があればすぐ利用しますよと示すことも大事なかなと考えております。</p>
委員	<p>私は違う観点から本がいいと思っています。本棚に自分の目当ての本と違う本がそばに並んでいるということ、Aの本が欲しかったが、そばにあったBの本にも出会えたという出会い、これが重要で、主張の違うAとBの本がすぐそばにある、多様性があると思います。電子図書と本、どちらもあるといいと思います。</p>
事務局	<p>「出会い」というのは大事なキーワードと考えております。こんな本があったのか」という機会をいかに提供できるかということが大事だと思っております。</p>
議長	<p>いろんなご意見をいただくのがこの会議の目的でもあります。どの意見が正しいということはありません。市長は図書館を建て替える予算はないとおっしゃっていましたが、今のままでは人は集まらないと思いますし、それではダメだと思います。学生などにも来ていただいて、コミュニケーションを図っていただくのが将来の利用につながるのではないかと思います。</p> <p>以前に図書館協議会の研修で茨木市の図書館を見せていただきましたが、イオンの中にあります。また、そのイオンには本屋さんもあります。本屋さん和図書館の共存が成り立つんです。南草津も商業施設の中にあります。みなさまにはいろんな図書館に足を運んでいただいて、またご意見をいただけたらと思います。</p>

	それでは、時間も来ましたので次回の開催日時等をお願いします。
事務局	滋賀県公共図書館協議会主催の図書館協議会交流会が11月16日（土）午後1時30分から4時まで、県立図書館で開催されます。ご都合のつくかたはぜひご参加をお願いします。また、次回図書館協議会は12月11日（水）午後4時から6時の開催とさせていただきます。 本日はありがとうございました。